資料２

「チョイソコとよあけ」実証実験第４期運行計画策定に向けた課題整理と解決策

「チョイソコとよあけ」実証実験第１・２期運行計画の実証実験結果から見えてきた課題とその課題を解決する方策を以下に示します。

▼図　第４期運行計画にけた課題整理と解決策（事務局案）

課　題

課題①

市内全域の高齢者や障がい者が、より多くの目的で外出しやすい環境を整備する必要がある

課題②

既存交通事業者との役割分担を明確にした上で、より気軽に利用しやすい公共交通サービスを提供する必要がある

課題③

利用者（高齢者・障がい者・交通不便地域）からの目線で、わかりやすく安心して利用できる運用ルールを確立する必要がある

解決策

▶ **利用者の外出目的を創出し、「移動手段」と「目的」をセットにした仕掛けづくりを構築**

▶ **高齢者のお出かけニーズに合わせた運行方法の整備と乗降場所の拡大**

▶ **複雑な運用・運行ルールの緩和**

第４期運行計画への反映

（事業スキーム）

第３期　目的の創出による利用状況を確認する（実証項目に加える）

第３期

<u>各種停留所の取り決め</u>

<u>① 住宅地停留所枠の確定</u>

<u>② 交通不便地域の指定</u>

③ 事業者停留所の拡大

ア ○○会として協賛することでその○○会の会員の停留所などを停留所とすることができる。

<u>イ 事業者停留所の廃止時期の統一化</u>

<u>④ 墓地・公園停留所の新設</u>

（運行方法の拡大）

<u>運行時間を拡大する</u>　継続検討

第３期　予約受付時間は、利用希望日の２週間前から 15 分前までとする

（移動ルールの緩和）

第３期　住宅地停留所間の移動を可能とする（交通不便地域のみ）

第３期　会員登録時の最寄停留所以外からの乗車を可能とする

~~名鉄バスと重複する区間の移動を可能とする~~

<u>名鉄バスとの乗継割引の導入</u>　継続検討